

# SPRecorder

型番 : SPLOG\_XXX (Ver.01-00)

## SPRecorder マニュアル

この度はお買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

### 【お願い】

本ソフトウェアは、PC毎に1式ご購入頂き、使用することができます。  
本ソフトウェアを複製、再頒布、ライセンス及びサブライセンスすることは  
違法行為に該当いたします。



株式会社 長塚電話工業所

● <http://www.nagatsuka.co.jp>

【お問い合わせ先】

● 〒213-0031 神奈川県川崎市高津区宇奈根643-3

● TEL 044 (850) 1533

この度はお買い上げいただき、ありがとうございました。  
本製品「SPRecorder」の特徴は下記の通りです。

## 1.APを選ばずに、手軽に録音可能

- 1)ソフトフォン及びTeams、ZoomのようなWeb会議TOOLでの会話を録音可能です。
- 2)APが違っていても同じ録音形式で録音が可能です。

## 2. 録音方法

- 1)通話が始まった時点から自動的に録音を開始され、通話終了時に録音が自動で停止します。  
受話デバイスを監視して自動的に開始するモードと無駄な録音を防止するため**マイクを使用しているAPを監視し自動的に開始するモードがあります。**
- 2)手動で録音の開始/停止が可能です。

## 3.保存先を設定可能

- 1)保存先を設定可能で、APが違っていても同じ場所に保存します。
- 2)共有サーバ等に保存することが可能なため、一元管理可能です。
- 3)ローカル保存や共通サーバのほかに、HTTPS（特定）での送信やAmazonS3への送信も可能です。

## 4.話者分離が可能

- 1)ステレオ形式で送話と受話を分けて録音することが可能です。
- 2)音声認識にかけた場合、分離してテキスト化が可能です。

## 5.検索・再生が可能

- 1)Playerをご購入いただくと、特定のフォルダ内の検索・再生が可能です。  
(録音ファイルのフォルダにアクセスが可能な場合でアマゾンS3などでは使用できません)

## 6.製品体系

項番	品名	型番	内容
1	SPRecorderメディア	SPLOG_Rec	ソフトウェア
2	SPRecorder (Playerなし) ライセンス	SPLOG_Rec_L	録音ライセンス
3	SPRecorder (Playerあり)ライセンス	SPLOG_Set_L	録音+再生ライセンス
4	Player ライセンス	SPLOG_Play_L	再生ライセンス
5	Player追加ライセンス	SPLOG_Play_Add_L	項番2に再生を追加する場合 必要
6	録音追加ライセンス	SPLOG_Rec_Add_L	項番4に録音を追加する場合 に必要

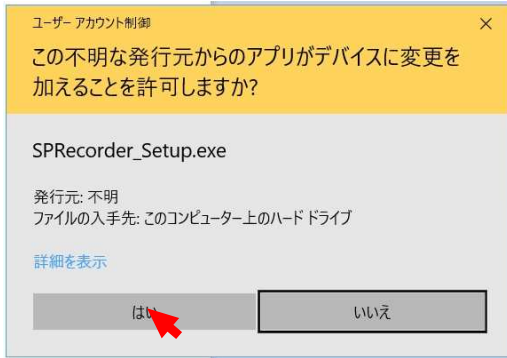
項番4のPlayerライセンスは、管理者が再生のみ行う場合に使用します。

目次	3
インストール手順①	4
インストール手順②	5
ライセンスの変更方法	6
SPRecorderの起動/終了方法	7
設定画面の表示/Playerの起動方法等	8
SPRecorderの画面一覧	9
設定画面：個別設定	10
設定画面：共通設定①	11
設定画面：共通設定②	12
録音：操作	13
録音：未送信ファイルの送信方法	14
Player：操作方法①	15
Player：操作方法②	16
アンインストール手順	17
エラーメッセージ	18
重要事項（制約事項）①	19
重要事項（制約事項）②	20

## ◆ SPReorderをインストールします。

① エクスプローラを起動し、CD-ROMドライブのSPReorder Setup.exeを起動してください。

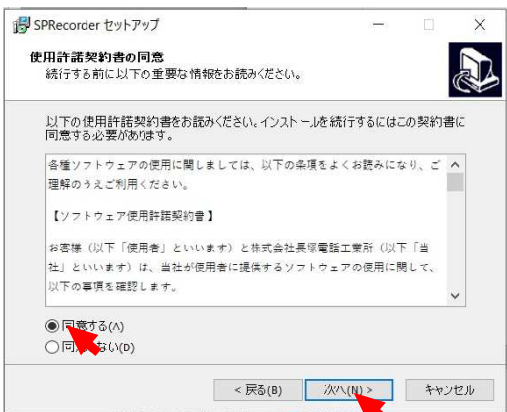
② 下図が表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



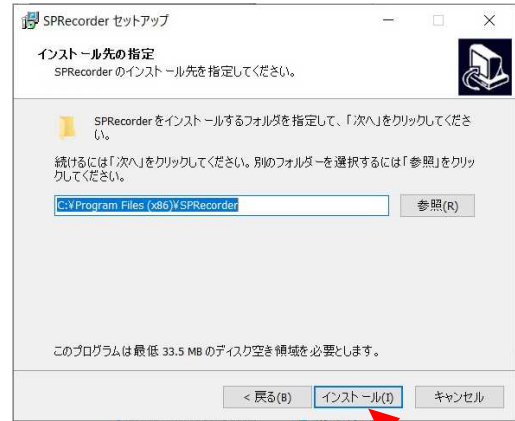
③ 下図が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。



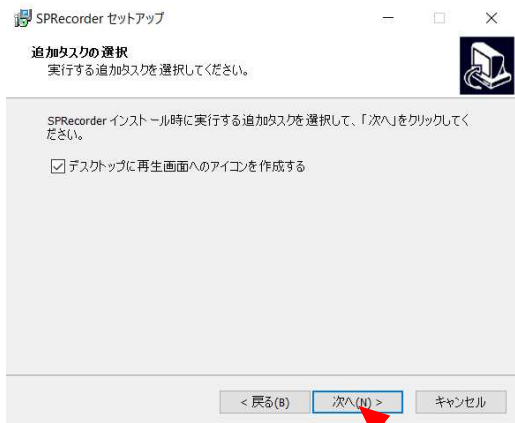
④ 下図が表示されますので、[同意する]にチェックし[次へ]ボタンをクリックしてください。



⑤ 下図が表示されますので、[インストール]ボタンをクリックしてください。



⑥ 下図が表示されますので、デスクトップに再生画面のアイコンを作成する場合は、[デスクトップに再生画面へのアイコンを作成する]にチェックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。



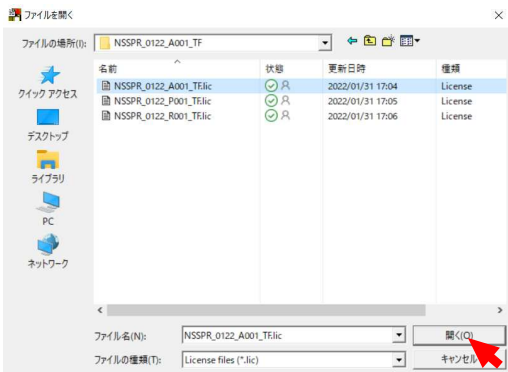
⑦ 下図が表示されますので、[終了]ボタンをクリックしてください。



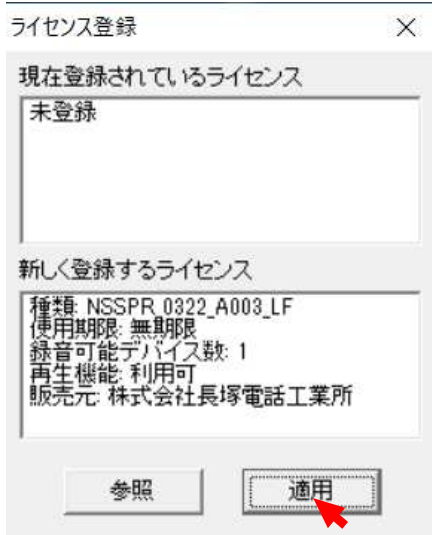
⑧次にライセンスの登録を行います。下図が表示されますので、[参照]ボタンをクリックしてください。



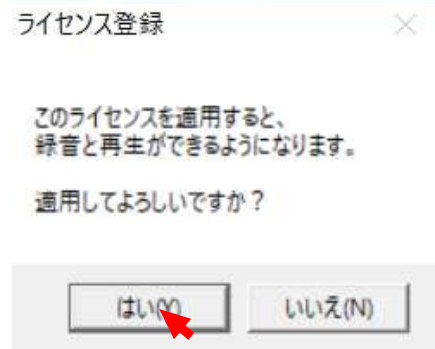
⑨下図が表示されますので、ご購入したライセンスファイルを選択後、[開く]ボタンをクリックしてください。(NSSPR\_XXXX\_XXXX\_XF.lic)



⑩下図が表示されますので、[適用]ボタンをクリックしてください。



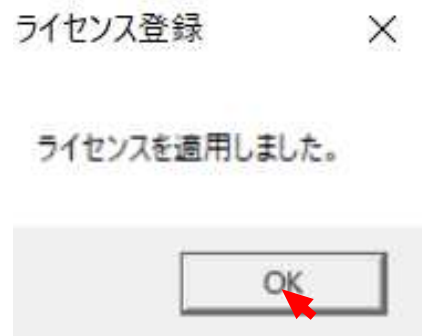
⑪下図が表示されますので、ライセンス内容があれば[はい]ボタンをクリックしてください。内容が合っていない場合は、「いいえ」ボタンをおしてやり直してください。



上記ライセンス内容は、録音と再生ライセンスの場合です。選択したライセンスによって、内容が異なります。

また、ライセンスを間違えますと、ご希望の機能が使えなくなりますので、必ず、ご確認をお願いいたします。

⑫下図が表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。



★以上でインストールは終了です。

インストールと同時にスタートアップに登録されます。次回パソコン起動時は本ソフトウェアが自動的に起動されます。

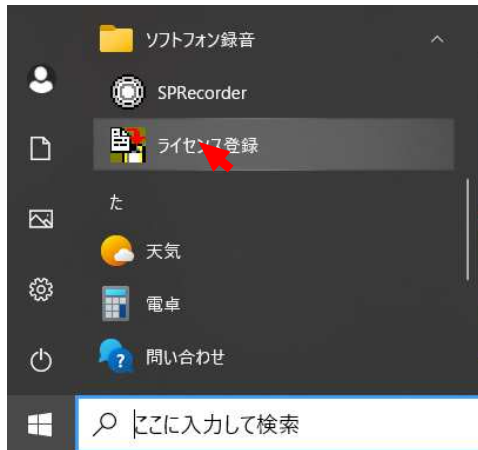
## ◆ライセンスを変更します。

(SPLOG\_RecからSPLOG\_Setに変更する場合など)

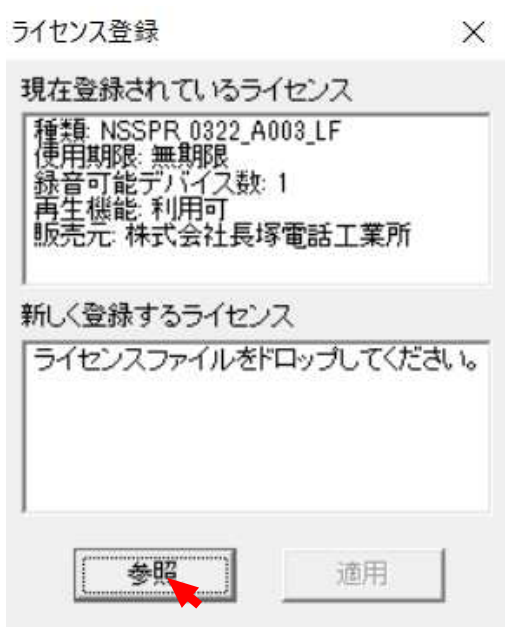
### ①SPRecorderを終了します。

終了方法は、P.7 [SPRecorderの起動/終了方法]を参照してください。

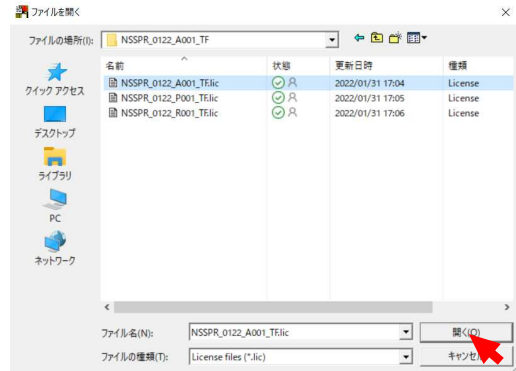
### ② [スタート] - [ソフトフォン録音] から [ライセンス登録] を起動します。



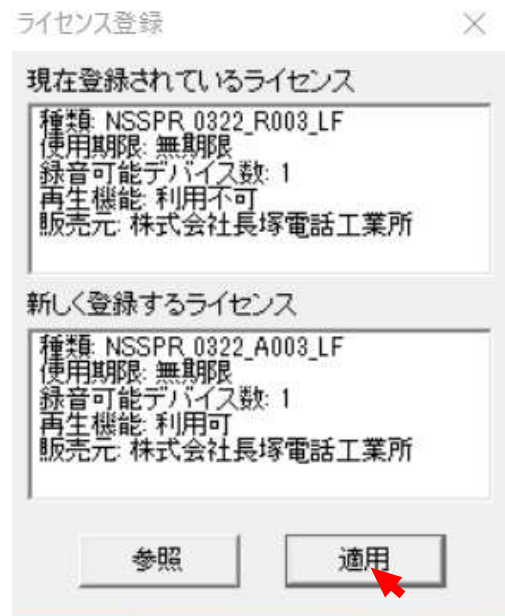
### ③下図が表示されますので、 [参照]ボタンをクリックしてください。



### ④下図が表示されますので、変更するライセンスファイルを選択後、[開く]ボタンをクリックしてください。



### ⑤下図が表示されますので、 [適用]ボタンをクリックしてください。



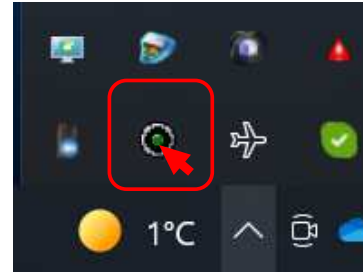
以降、P.5の⑩と同じ操作です。

## ◆SPRecorderの起動方法

- ① [スタート] - [ソフトフォン録音] から SPRecorderを起動します。



尚、SPRecorderメイン画面をダブルクリックしますと最小化され、タスクトレイに格納されます。再度、最大化したい場合は、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてください。

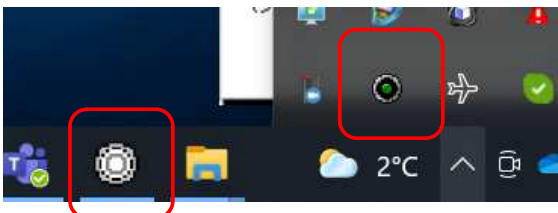


- ② SPRecorderが起動され下記メイン画面が表示されます。

初回起動時は、デバイスの設定が必要なため、個別設定画面が開きます。設定方法はP.10 [個別設定] を参照してください



タスクバー及びタスクトレイにアイコンが表示されます。

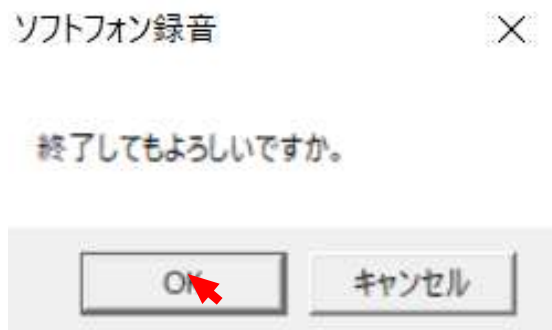


## ◆SPRecorderの終了方法

- ① [タスクトレイ]のアイコンを右クリックし、[終了] を選択します。

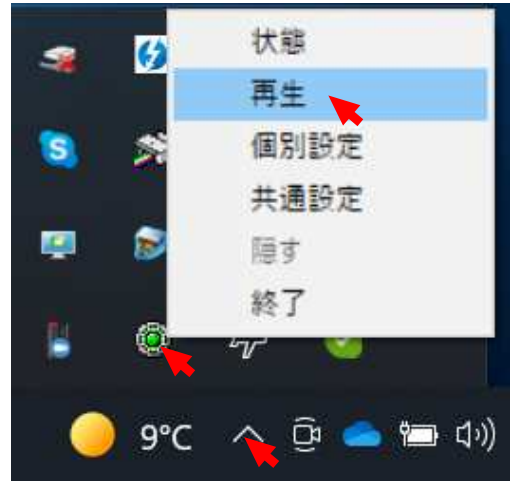


- ② 下図が表示されますので、[OK] ボタンを押してください。



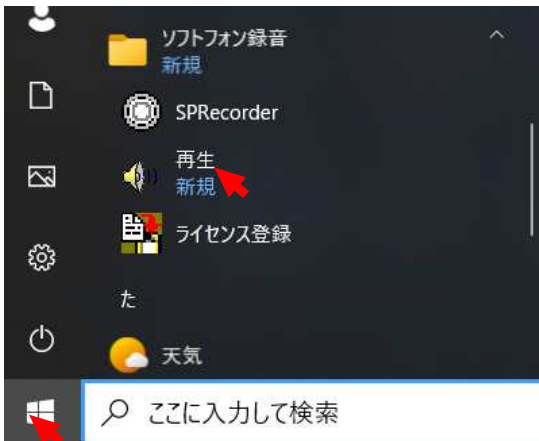
## ◆設定画面の表示方法

- ① [タスクトレイ]のアイコンを右クリックし、個別設定または共通設定を選択します。



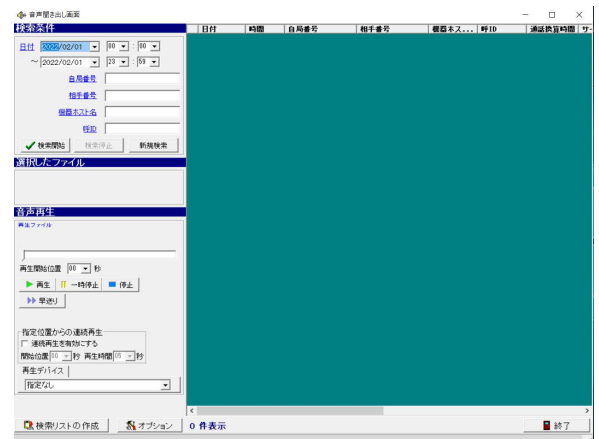
## ◆Playerの起動方法

- ① [スタート] - [ソフトフォン録音] から [再生] を選択するまたは、デスクトップのアイコンをダブルクリックまたはタスクトレイのアイコンを右クリックし、再生を選択します。



インストール時にアイコンを作成した場合デスクトップに表示されます。

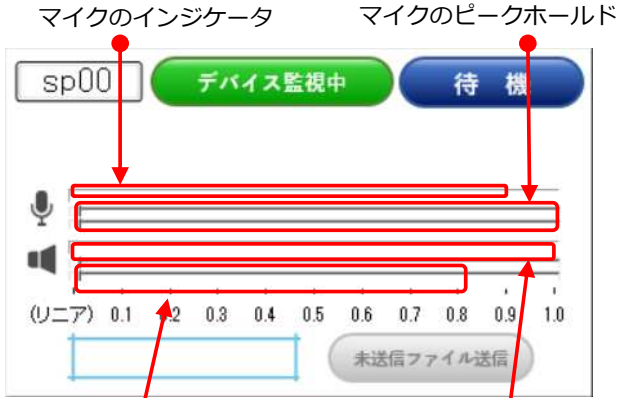
- ② Playerが起動され下記画面が表示されます。





## ◆各種画面

- メイン画面（自動録音）モード。



マイクのインジケータ      マイクのピークホールド  
スピーカーのピークホールド      スピーカーのインジケータ

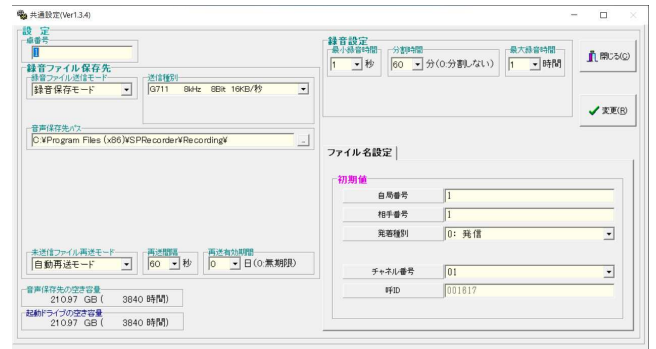
- メイン画面（手動録音）モード。



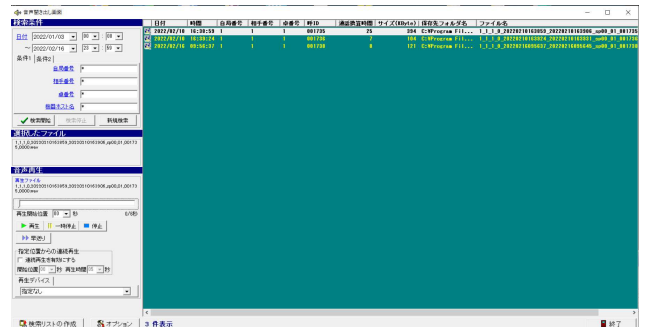
- 設定画面：[個別設定]



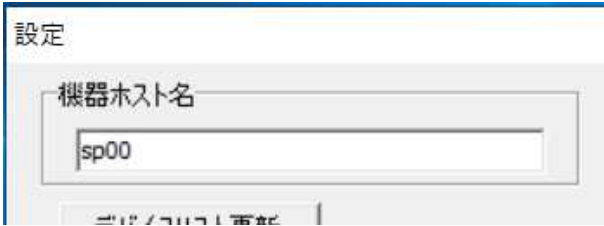
- 設定画面：[共通設定]



- 再生画面



## ●機器ホスト名の設定



- 録音機器を識別するための名称でファイル名に固定で付与されます。

## ●マイクデバイスとスピーカデバイスの設定と録音音量の設定



項目名	概要	設定例
デバイスリストの更新	接続されている音声デバイスを更新します。	
マイク	録音したい送話の音声デバイスをプルダウンから選択します。	マイク
マイク録音音量×	送話の録音音量を設定します。録音中にメイン画面のインジケータを見ながら調整してください。	0.5
スピーカー	録音したい受話の音声デバイスをプルダウンから選択します。	スピーカー
スピーカー録音音量×	受話の録音音量を設定します。録音中にメイン画面のインジケータを見ながら調整してください。	0.5

注：録音音量は、通話時の音量ではありません。通話の音量は、各APソフトで調整をお願いします。また、通話の音量を変更した場合、再度、設定が必要です。

## ●録音方法の設定



項目名	概要	設定例
自動録音	録音開始/停止を自動で実施します。	
手動録音	録音開始/停止を手動で実施します。	
フィルター	チェックなし：スピーカーデバイスの使用状態を監視して、録音を開始します。 チェックあり：上記+マイクを使用中のAPを監視して録音を開始します。自動録音時に有効で、不要な録音を防止できます。 ・Youtube等の再生による録音防止します。 ・起動時からスピーカーデバイスを使用するlineMediaPlayerなどを防止します。	
録音対象アプリ	通常は設定しません。APが設定されていない場合は、録音対象外アプリに設定のないすべてのAPが対象です。設定されているAPのみがマイクを使用中の場合、録音が行われます。設定されているAPがマイクを使用している場合、録音対象外アプリに設定されていないAPがマイクを使用すると録音されません。	Teams
録音対象外アプリ	設定されたAPがマイクを使用しても録音されないようにすることができます。	Skype

## 対象アプリ、対象外アプリの設定

- APを使用した状態で [ << 録音中のアプリ ] ボタンを押すと指定可能です。
- 大文字、小文字は区別されません。
- 複数のアプリを設定する場合は半角カンマで区切ります。
- 完全一致ではありませんので、設定された文字が含まれるアプリが判定されます。
- アプリ名にはアプリの内部名を設定する必要があります。
- 複数のアプリがマイクを使用している状態では、先に使用を始めたアプリが設定されます。
- 録音対象外アプリに設定されているアプリは「録音中のアプリ」ボタンでは設定されません。

## ●設定終了

変更後、変更ボタンをおしたあと、右上の [x] で終了させてください。

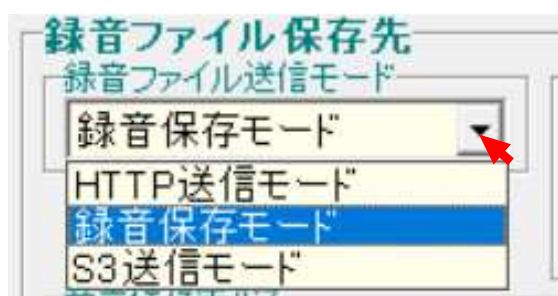


## ● 宅番号設定



内線番号などを入力します。ファイル名に付与されます。

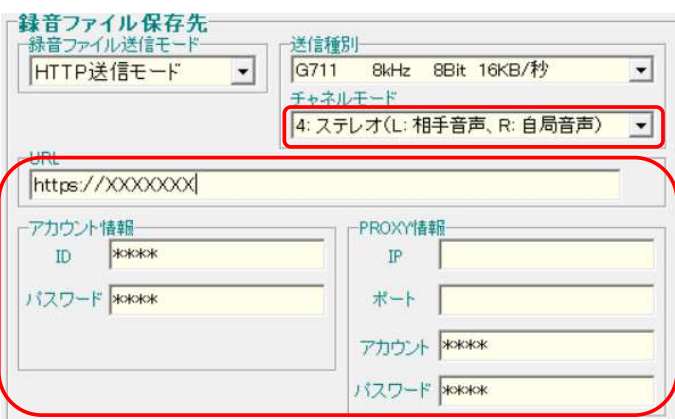
## ● 録音ファイル保存先設定 録音ファイル送信モード設定



プルダウンからモードを選択します。

## ● HTTP送信モード (未サポート)

HTTPSで送信する場合に選択します。下図が表示されますので、必要に応じて、URL、アカウント情報、PROXY情報を設定してください。チャンネルモードは、“4”を選択してください。



## ● 録音保存モード

ローカルや共有サーバー等に保存する場合、選択します。下図が表示されますので、録音ファイルの保存先を設定してください。

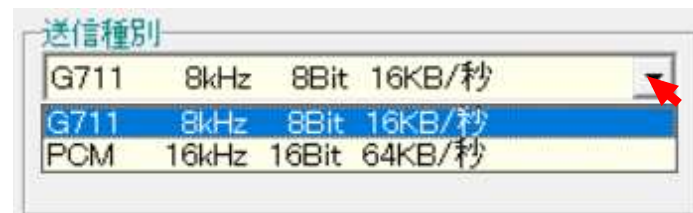


## ● S3送信モード

アマゾンS3へ保存する場合に選択します。下図が表示されますので、必要に応じて、フォルダ名、アカウント情報及びPROXY情報を設定してください。



## ● 送信種別設定



プルダウンからモードを選択します。

項目名	概要
G711 8kHz 8Bit 16KB/秒	8kHzサンプリング8ビットステレオ形式で録音 (μ-law)
PCM 16kHz 16Bit 64KB/秒	16kHzサンプリング16ビットステレオ形式で録音 (リニアPCM)

## ●未送信ファイル再送モード/再送間隔/再送有効期間の設定

未送信ファイル再送モード: 自動再送モード | 再送間隔: 60 秒 | 再送有効期間: 0 日(0:無期限)

項目名	選択	概要
未送信ファイル再送モード	自動再送モード	ファイルの保存に失敗した場合、自動的に再送します。
	手動再送モード	ファイルの保存に失敗した場合、手動ボタン押下により再送します。
再送間隔	30,60,180,300秒から選択可能	保存失敗から再送するまでの秒数を設定します。
再送有効期間	0,30,60,90,180,360日から選択可能	再送する期間を設定します。0の場合、無制限となります。

項目名	選択	概要
自局番号	30桁入力可能	自局の番号を入力します。ファイル名に固定で付与されます。
相手番号	30桁入力可能	相手の番号を入力します。ファイル名に固定で付与されます。
発信種別	0:発信 1:着信	発信種別を選択します。ファイル名に固定で付与されます。
チャンネル番号	0~99を設定します。	チャンネル番号を選択します。ファイル名に固定で付与されます。
呼ID	設定不可	ファイル名に付与されます。録音の度に自動的に発信されます。

## ●録音設定

録音設定  
 最小録音時間: 1 秒 | 分割時間: 60 分(0:分割しない) | 最大録音時間: 1 時間

項目名	選択	概要
最小録音時間	1,5,10,15,20,25,30秒から選択可能	最小録音時間を設定します。設定値より短い場合、保存されません。
分割時間	0,60,90,120分から選択可能	録音ファイルを分割する場合に使用します。設定値を超えますと同一呼IDのままリビジョンを変更し録音が継続します。(異なる音声ファイルにわかれます)
最大録音時間	1~5時間を選択可能	最大録音時間を設定します。設定値を超えますと確認メッセージを表示し、呼IDを変更し録音を継続します。

## ●空き容量

音声保存先の空き容量: 206.61 GB ( 3761 時間)  
 起動ドライブの空き容量: 206.61 GB ( 3761 時間)

項目名	選択
音声保存先の空き容量	指定した保存先の空き容量を示します。(録音保存時モードのみ)
起動ドライブの空き容量	インストールフォルダの空き容量を示します。

## ●設定完了

設定が完了したら、[変更] ボタンをたあと [閉じる] ボタンを押して終了してください。

## ●ファイル名設定

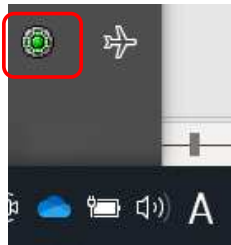
ファイル名設定

初期値

自局番号: 1  
 相手番号: 1  
 発信種別: 0: 発信  
 チャンネル番号: 01  
 呼ID: 001633

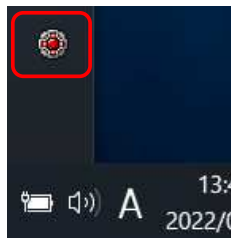
## ◆自動録音の場合

①対象のAPにて通話を行っていない状態です。



待機状態となり、タスクトレイのアイコンは緑点滅になります。

②対象のAPが通話を開始した状態です。



録音状態となり、録音時間が表示されます。タスクトレイのアイコンは赤点滅になります。

③対象のAPが通話を終話しますと録音が停止、ファイル保存後、①の状態に戻ります。

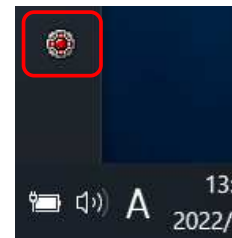
## ◆手動録音の場合

①待機の状態です。



待機状態となり、録音ボタンは活性、停止ボタンは不活性になります。タスクトレイのアイコンは緑点滅になります。

②録音ボタンを押した状態です。



録音状態となり、録音ボタンは不活性、停止ボタンが活性、録音時間が表示されます。タスクトレイのアイコンは赤点滅になります。

③停止ボタンを押しますと録音が停止、ファイル保存後、①の状態に戻ります。

## ◆自動再送モードの場合

## ●自動録音モード時



録音ファイルの保存に失敗した場合

「未送信ファイルあり」と表示されます。  
共通設定の再送間隔で保存を、再送が完了しますと表示が消えます。

## ◆手動再送モードの場合

## ●自動録音モード時



録音ファイルの保存に失敗した場合

「未送信ファイルあり」と表示されます。  
「未送信ファイル送信」ボタンを押しますと、再送を開始します。再送が完了しますと、表示が消え  
「未送信ファイル送信」ボタンが不活性になります。

## ●手動録音モード時



録音ファイルの保存に失敗した場合

「未送信ファイルあり」と表示されます。  
共通設定の再送間隔で保存を行い、再送が完了しますと表示が消えます。

## ●手動録音モード時



録音ファイルの保存に失敗した場合

「未送信ファイルあり」と表示されます。  
「未送信ファイル送信」ボタンを押しますと、再送を開始します。再送が完了しますと、表示が消え  
「未送信ファイル送信」ボタンが不活性になります。

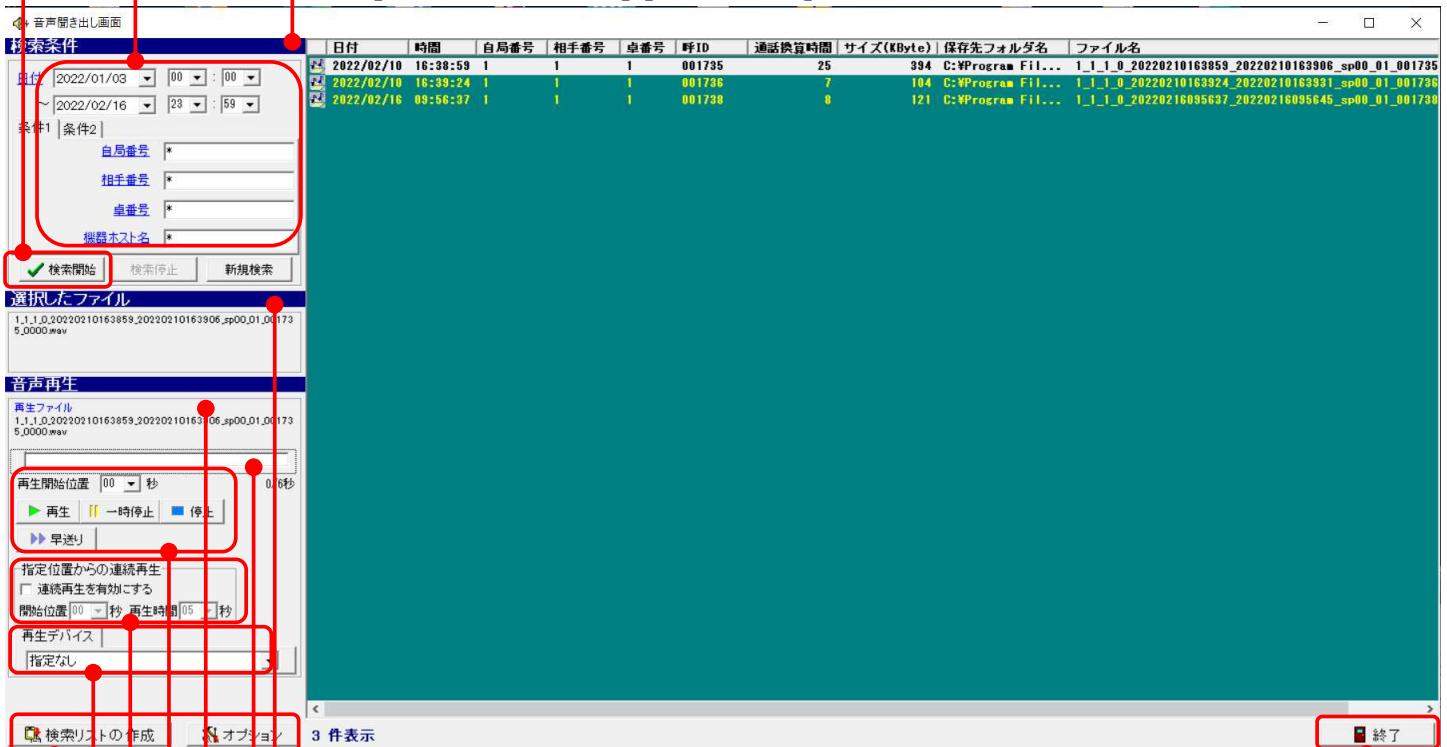
## ◆メイン画面説明

[検索開始]ボタン：検索項目に入力した条件で保存された通話録音ファイルを検索します。

検索したいキーワードを入力します（AND条件です）。

下記項目毎に昇順で表示されます。（初期表示：日付、時間で昇順）

[日付][時間][自局番号][相手番号][卓番号][呼ID][通話換算時間][サイズ]  
[保存策フォルダ名][ファイル名]



選択した録音ファイルが表示されます。

再生する録音ファイルが表示されます。

再生インジケータ

再生開始位置

再生、一時停止、停止ボタン：選択した録音ファイルを再生、一時停止、停止します。

早送りボタン：1.2~3.0倍速で再生可能です。

一時停止後に押しますと、0.6~0.9倍速でスロー再生可能です。

連続再生を有効にする：チェックしますと、選択した録音ファイルから順に再生します。

開始位置：再生を開始する位置を設定します。0~60秒で設定可能

再生時間：再生する時間を設定します。

再生デバイス：再生するデバイスを一時的に変更する場合、プルダウンから選択します。

検索リストの作成：検索リストをCSV形式で出力します。

オプション：検索条件の設定などを行います。P.16 [オプション画面説明]を参照してください。

Playerを終了します。

## ◆オプション画面説明

→ 検索の表示件数を設定する場合、  
チェックし件数を設定します。

→ チェックありの場合  
すべての録音ファイルが検索の対象になります。  
チェックなしの場合  
設定した卓番号のみが検索対象になります。

→ Playerのみの場合、検索・再生対象の音声保存先  
フォルダを指定します。

→ 再生デバイスを変更する場合  
プルダウンから選択します。

→ 通話換算時間の計算に使用します。  
型番 SPLOG\_Setの場合：  
共通設定の送信種別が表示されます。  
型番 SPLOG\_Playの場合：  
変更可能で、送信種別（ファイル形  
式）に合わせて、変更してください。



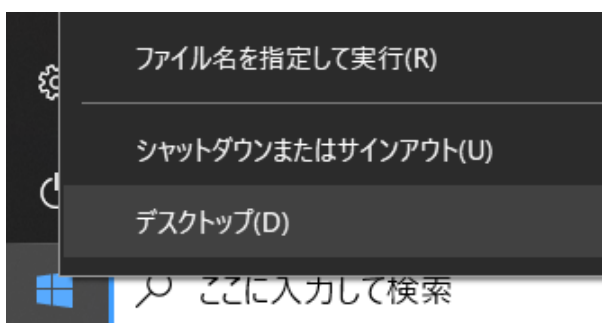
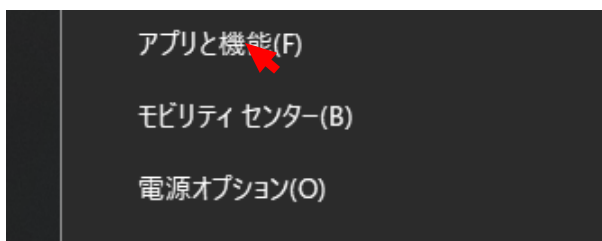
## ◆SPRecorderをアンインストールします。

①SPRecorderを終了します。  
終了方法は、P.7 [SPRecorderの起動/終了方法]を参照してください。

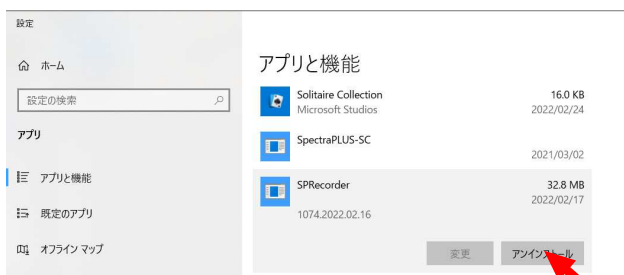
②画面左下のスタートボタンを右クリックします。



③「アプリと機能」をクリックします。



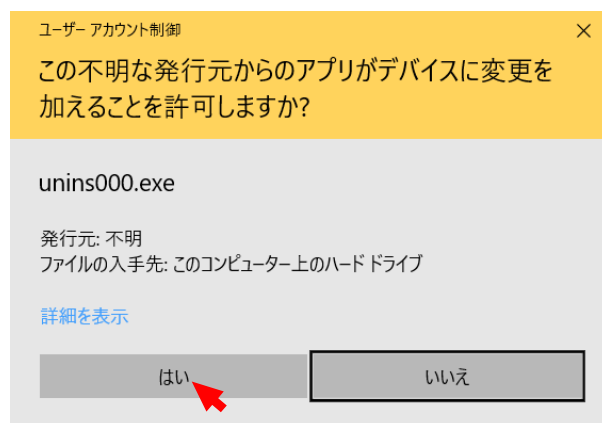
④「アプリと機能」が開きますので、下の方にスクロールしSPRecorderをクリック後、アンインストールをクリックします。



⑤確認のメッセージが表示されますので、アンインストールをクリックしてください。



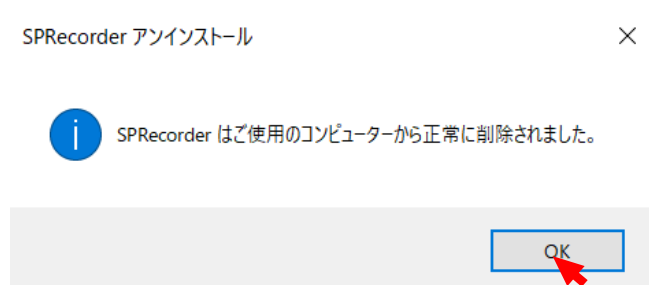
⑥下図が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



⑦下図が表示されましたら、[はい] をクリックしてください。



⑧下図が表示されましたら、[OK] をクリックしてください。





【原因】

- デバイス設定に誤りがあるか、またはデバイスが接続されていません。

【対策】

- 設定を見直していただき、設定されたデバイスを接続してください。



【原因】

- デバイス設定に誤りがあるか、またはデバイスが接続されていません。

【対策】

- 設定を見直していただき、設定されたデバイスを接続してください。



【原因】

- 設定されたデバイスが接続されていない、またはデバイスを認識できません。

【対策】

- 設定を見直していただき、設定されたデバイスを接続してください。



【原因】

- Windowsのマイクの設定がオフに設定されています。

【対策】

- Windowsメニュー - 設定 - プライバシー - マイクの設定をオンにしてください。  
デスクトップ アプリがマイクにアクセスできるようにするもオンにしてください。



【原因】

- デバイスが設定されておりません。(初回起動時)

【対策】

- 個別設定からデバイスを設定してください。

下記に本製品の重要事項（制約事項）等についてご説明いたします。

1. リモートデスクトップ接続先でリモートオーディオを使用し、本ソフトで長時間録音した場合、スピーカー音声が遅延する場合があります。
2. 自動録音モードは、スピーカーデバイスの使用状態を監視して実現しています。APの中には起動しただけで、スピーカーデバイスを使用するものがあり、スピーカーデバイスが使用された状態になると、録音状態となってしまいます。

例) スピーカーデバイスを常に使用するアプリ：LineMediaPlayer

この場合、LineMediaPlayerが起動されただけで、録音を開始されてしまいます。回避方法として、以下の設定をお願いいたします。

①録音方法の設定で、フィルターに☑してください。(P.10 [個別設定])

**フィルターに☑しますと、マイク使用中（マイクを使用しているAPを監視）かも監視しますので、録音が始まりません。**

**ただし、違うAPが、マイクを使用した場合、録音が始まります。**

②LineMediaPlayerが使用するデバイスを別のデバイスに変更します。

実際のLINE通話はLineCallというAPが行いますので、LineCallには、対象となるデバイスを設定することで回避可能です。ただし、この回避方法の制限事項としてLineMediaPlayerで再生した場合、再生音は、Linecallのデバイスとは違うデバイスに流れることとなります。

← 設定

🏠 アプリの音量とデバイスの設定



LineCallと別なデバイスに設定する

また、以下に起動と同時にデバイスを使用するAPを示します。

●スピーカーデバイスを常に使用するAP：LineMediaPlayer、CallConnect

●**マイクを常に使用するAP**：AmazonConnect

上記APを起動するだけで、録音開始になる場合がありますので、フィルターの設定やデバイスの設定で回避をお願いいたします。また、CallConnectの場合、保留にするとマイクが未使用になるため、録音が停止しますが、その後、保留解除で録音を開始します。但し、別の録音ファイルとなります。

3. Windows標準のプレイヤーやWindows再生音、汎用の再生APなどで再生する場合  
再生先が録音対象デバイスと同じ場合は、録音対象デバイスで通話が始まったとみなされ録音を開始しますのでご注意ください。  
この場合、録音方法の設定でフィルターに☑することで防止することができます。  
（P.10 [個別設定]）ただし、マイクデバイスを常に使用するAPが起動している場合は防止することができません。  
本Playerにて再生した場合は、再生デバイスと録音対象デバイスが同じでも、録音を開始しないようになっています。  
本Playerにて再生中に通話開始された場合、録音は開始せず、再生が終わり次第、録音を開始されます。（Playerが使用しているデバイスとスピーカー対象デバイスが同じ場合）  
尚、通話中の再生では、通話開始時に録音が始まりますが、録音と同じ再生デバイスに再生を行った場合、再生音も合わせて録音されます。
4. Playerの通話換算時間は、Playerのオプションの録音音声ファイル形式に設定された種別で換算しております。そのため、設定された種別と違う種別の音声ファイルの場合通話換算時間は、間違った時間となります。
5. 動作環境は下記の通りです。  
  
OS : Windows10 Professional (Ver 21H2、21H1、20H2)  
Windows11 Professional (Ver 21H2)  
ハードディスク容量 : 35MB以上  
メモリー : 2GB以上
6. ファイル名命名規則  
自局番号\_相手番号\_内線番号\_発着フラグ\_録音開始日時\_  
録音終了日時\_機器ホスト名\_チャンネル番号\_呼ID\_リビジョン.wav